LDR-42AK V02B

ATAPI内蔵型DVD-R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

目次

LDR-42AK

付属品の確認

□DVD-R/RWユニット １台
□ライティングソフトウェア
　　WinCDR Lite（PacketMan含む） １式
□取り付けネジ ４個
□保証書／ユーザー登録カード １枚
□DVD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル........ 本書

※本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

必ずお読みください

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

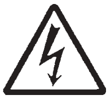
・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

・本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

■表示について

・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
⚠ **注意**	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警告

●接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



●万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

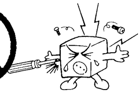




●分解／改造しないでください。

本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

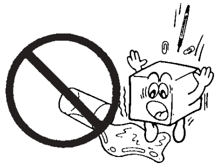




警告

●内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



●水場で使用しないで下さい



本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



●本製品内部のレーザー光線を直視しないで下さい。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあたると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないで下さい。



●本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないで下さい。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

●接続時、感電／火傷等に注意してください。

・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



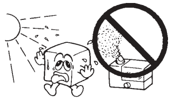
●静電対策をしてください。

本製品およびパソコン本体には、静電気に弱い部品が使用されています。静電気のたまりやすいカーペットの上などに置かないでください。
また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分にふれて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要な部分には手を触れないでください。

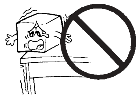


注意

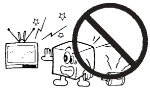
●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



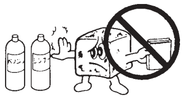
●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



●ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



●本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

その他の
強制事項

●メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをして下さい。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。

その他の
注意事項

●オーディオCDを再生するときは

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。

その他の
禁止事項

●映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換／保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権利者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください

その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社 DVD-R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は DVD-R/RW ユニットに関する設定／接続方法、機能／仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD-R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

⑥ CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようにご注意ください。

⑦弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第１章　ご使用の前に

１．１　製品の概要

本製品には以下のような特徴があります。

○DVD-R メディアの 4 倍速書き込み、DVD-RW メディアの 2 倍速書き換え、DVD-ROM メディアの 12 倍速読み出しが可能です。標準速では60 分かかる 4.7GB の書き込みが、4 倍速では約 15 分で終了します。

○DVD-R，DVD-RW メディアの他にも CD-R メディアの 16 倍速書き込み、CD-RW メディアへの 8 倍速書き換えにも対応しています。

○ライティングソフトウェアは、Aplix 社の「WinCDRLite」を付属しています。
また、「DVD-R メディア」「DVD-RW メディア」に対応したパケットライトソフトウェア「PacketMan」を付属していますので、大容量のデータ記憶メディアとして活用することができます。

○各メディアへの書き込み時には、バッファアンダーランエラー防止機能が動作しますので、安定した書き込みが可能です。

○また、DVD 再生ソフトが添付されていますので、市販の DVD ビデオなどをパソコンの画面で再生することができます。

○DVD-R,DVD-RW メディアには DVD-ROM 互換の PC データ書き込みを行うことができるので、大容量の PC データの保存や配布に活用できます。もちろん DVD-R,DVD-RW メディアだけでなく、「CD-R/CD-RW メディアへの書込みにも対応しています。

Point　本製品の型番について

本製品の型番末尾に（B）とあるのはボディーカラーがブラックであることを意味します。その他の仕様はまったく同一ですので、本書ではこの部分を省略して記載しています。

1

１．２　使用上のご注意

- 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-R，DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオを再生可能なDVDプレーヤーに関する情報は、弊社ホームページ（http://www.logitec.co.jp）をご参照ください。
- パケットライトソフトウェア「PacketMan」でDVD-RWメディアに書き込まれたデータは、DVD-RWメディ以外のドライブでは読み出すことができません。これはDVD-RWメディアへの書き込みに「Restricted Overwrite方式」が使用されているためです。
- DVD-R，DVD-RWメディアにはラベルを貼付しないでください。

１．３　使用可能なDVDメディア

メディア名	容量	読み込み	書き込み
DVD-ROM single	4.7GB	○	―
DVD-ROM dual	8.7GB	○	―
DVD -RAM	All -Type	×	×
DVD-R Ver.1.0	3.95GB	○	×
DVD-R for Authoring Ver.2.0	4.7GB	○	×
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB	○	○
DVD-RW Ver.1.1	4.7GB	○	○
DVD - Video	―	○	―
DVD + R	4.7GB	×	×
DVD + RW	4.7GB	×	×

○→使用可能
×→使用できません
ー→その用途での使用は不可

- DVD-Rメディアはデータの書き換えはできませんが、互換率が高いので保存や配布目的のPCデータやDVDビデオの書き込みに向いています。
- DVD-RWメディアは書き換え可能ですが、DVD-Rメディアと比べ互換率が若干低くなります。PacketManを使ってのドラック＆ドロップでのデータ保存や、DVDビデオの試し書きなどの用途に向いています。

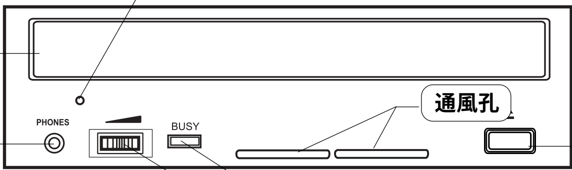
１．４　各部の名称

本製品前面

トレイ
メディアをセットする部分です。

強制イジェクトホール
イジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合に使用します。

イジェクトボタン
トレイの出し入れに使用します。



ヘッドフォン端子
本製品ではステレオミニジャックを使用しています。

ヘッドフォン用ボリューム
ヘッドフォン端子に接続したヘッドフォンの音量を調整します。

BUSY 表示ランプ
読み込み時に緑色に点滅、書き込み時に緑色に点灯します。

ご注意

- 通風孔をふさいだり、この部分を覆うような形でものを置かないでください。過熱による故障などの原因となります。

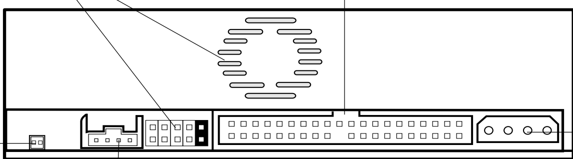
本製品背面

通風孔

ジャンパースイッチ
本製品の動作モードを設定するスイッチです。
(次ページ参照)

インターフェースコネクタ
フラットケーブルでパソコン本体のE-IDEコネクタと接続します。

電源コネクタ
パソコン本体の内部電源ケーブルを接続します。



使用しません

内部オーディオ出力コネクタ
オーディオCDの再生出力をサウンドカードなどに接続するためのコネクタです。
接続にはサウンドボードのマニュアルで指定されたケーブルをご使用ください。

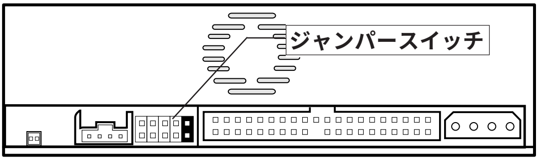
第2章　接続について

2．1　接続の前に

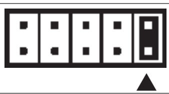
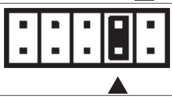
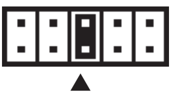
■ジャンパースイッチの設定

本製品を接続する前に、背面のジャンパースイッチで本製品の動作モード（マスタ／スレーブ／ケーブルセレクト）を設定します。

※動作モードの設定は下図のように背面のジャンパースイッチで行います。接続する環境にあわせてマスタ／スレーブ／ケーブルセレクトに設定してください。



本製品の場合、以下のようにジャンパープラグを配置することで「マスタ」「スレーブ」「ケーブルセレクト」の設定ができます。

	**※本製品のみを接続する場合、もしくは、2台接続でマスタとして使用する場合（出荷時設定）**
	**※2台接続でスレーブとして使用する場合**
	**※ケーブルセレクトで使用する場合（参考）**

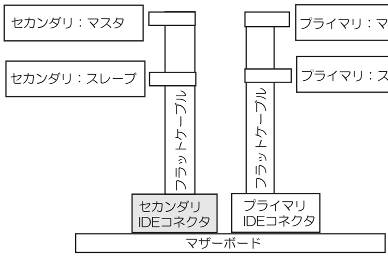
＝ジャンパープラグをセットする位置

ご注意

「ケーブルセレクト」は専用ケーブルを使用することによって、動作モードを自動設定する規格です。
「ケーブルセレクト」はパソコン本体がこの規格に対応していないと使用できません。そのため、パソコン本体のマニュアルで「ATAPI（E-IDE）機器をケーブルセレクトに設定する」と指定されている場合のみ、この設定にしてください。
この設定を行った場合、専用ケーブルを別途用意する必要があります。

ジャンパースイッチの設定が分からない場合は…

○一般のパソコンではマザーボードにプライマリとセカンダリの２つのATAPI（E-IDE）コネクタがあります。
それぞれのATAPI（E-IDE）コネクタには各２台のATAPI対応機器を接続できますが、どちらのコネクタに接続する場合でも、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければいけません。
この設定を行うのがジャンパースイッチです。下の図とご使用のパソコンを見比べて、本製品を「マスタ」に接続するのか、「スレーブ」に接続するのかを確認してください。



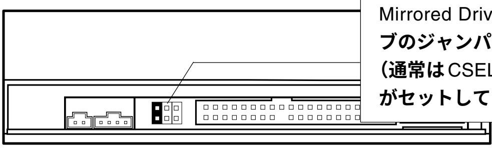
コネクタ	ドライブの設定	
プライマリ	1台目	マスター
	2台目	スレーブ
セカンダリ	1台目	マスター
	2台目	スレーブ

■ Power Mac G4 に接続する場合

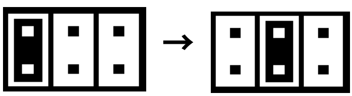
本製品を Power Mac G4 シリーズに接続する場合は、次ページの「２．２　本製品の接続」の諸注意事項をご確認の上、「３．５　Power Mac G4 に接続する場合」を参照して本製品の接続を行ってください。

Power Mac G4 Mirrored Drive Doorに内蔵する際のご注意

○Power Mac G4 Mirrored Drive Doorに内蔵する場合は、Mirrored Drive Doorにあらかじめ搭載されているドライブをスレーブに、本製品をマスタにジャンパスイッチを設定してください。



Mirrored Drive Door 内蔵の光学式ドライブのジャンパースイッチ
（通常はCSELの位置にジャンパープラグがセットしてあります。）



Mirrored Drive Door内蔵の光学式ドライブのジャンパースイッチの設定

出荷時設定
CSEL

スレーブ

※上記の設定後は、キーボードのメディアイジェクトキーを押すと、本製品のトレイが排出されるようになります。あらかじめ内蔵されていたドライブのトレイを排出する場合は、「Option」キーを押しながらメディアイジェクトキーを押してください。

２．２　本製品の接続

ジャンパースイッチの設定後、本製品をパソコンに接続します。

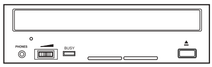
重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

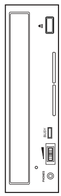
2

■設置方向の確認

本製品を５インチベイに内蔵する際には、本製品が以下のような方向になるようにしてください。逆方向に設置すると故障の原因になります。



水平方向の場合

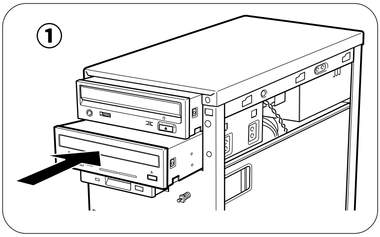


垂直方向の場合

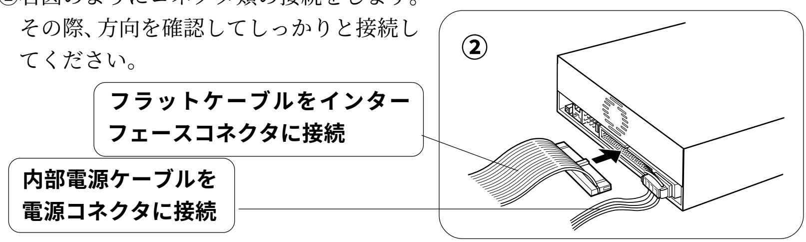
■接続例

ここでご紹介するのは、あくまでも一例です。パソコンの種類によっては特殊な金具を必要とするものなどもありますので、接続に際してはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

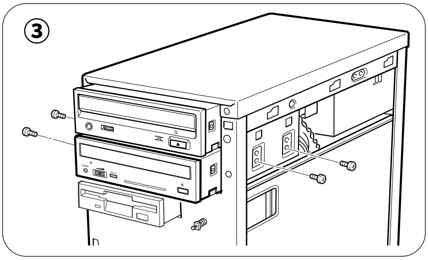
①パソコンのサイドカバー、フロントパネル等を取り外し本製品を５インチベイに挿入します。



②右図のようにコネクタ類の接続をします。その際、方向を確認してしっかりと接続してください。



③本製品を完全に挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。
接続が終了したら、パソコンのカバー等を取付けてください。



Point ポイント

・サウンドボードをお持ちの場合は、コネクタ類の接続時に、必要に応じて本製品の内部オーディオ出力コネクタとサウンドボードの入力コネクタを接続してください。この接続を行うとオーディオCDをサウンドボード経由で再生することができます。
接続にはサウンドボードのマニュアルで指定されたケーブルをご使用ください。（接続の詳細についてはサウンドボードのマニュアルをご参照ください。）

・フラットケーブルを接続する際に、プライマリのフラットケーブルに余っているコネクタがない場合や、セカンダリIDEコネクタにフラットケーブルが付属していない場合には、別売りのフラットケーブルをご使用ください。
別売りフラットケーブルについては第３章「３．４　オプション品について」をご参照ください。

２．３　接続結果の確認

Windows の場合

①パソコンの電源をONにしてWindowsのシステムを起動します。
②システム起動後、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。
以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。


Windows XPで表示されるアイコン


Windows Me，98，2000で表示されるアイコン

Mac OS X 10.2 の場合

①アップルメニューから「このMacについて」をクリック
②「詳しい情報」をクリック
③「Appleシステムプロフィール」画面で「装置とボリューム」タグをクリック
④「パス」内の「CD-RW/DVD-R」手前の▼をクリックし
⑤「製品識別番号」に「DVD-RW DVR-105」と登録されていたら本製品は正しく認識されています。
後は本製品にメディアを挿入すれば自動的にアイコンがデスクトップにマウントされます。

※本製品が認識されていない場合はトラブルシューティングを参照して、チェックを行ってください。

２．４　使用可能なソフトウェアについて

接続が完了すると、本製品はDVD-ROMドライブ（リーダ）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、DVD-R,DVD-RW,CD-R,CD-RWメディアへの書き込みや、DVDビデオの再生はできません。DVD-R/RWユニットはソフトウェアを使用してデータの書き込みやDVDビデオの再生を行うためです。

2

■ Windows対応のソフトウェア

本製品付属のWIndows用ライティングソフトウェア「WinCDR」「PacketMan」をインストールすると、データの書き込み、バックアップ、オーディオCDの作成が可能になります。（インストール方法については次ページ以降をご参照ください。
ただし本製品には、DVDビデオ再生・オーサリング・ライティングに対応したソフトウェアは付属しておりません。下記のソフトウェアの対応が確認されていますので、別途ご購入ください。

- WinCDR 7.0 Ultimate DVD2（アプリックス社）
- Drag'n Drop CD+DVD3 Power Edition（イージーシステムズジャパン株式会社）
- WinDVD Creator（インタービデオジャパン社）
- WinDVD Recorder（インタービデオジャパン社）
- PowerProducer DVD（サイバーリンク社）
- PowerDirector 2.5 Pro（サイバーリンク社）
- PowerDVD XP（サイバーリンク社）
- DVDit! SE（ソニック・ソルーションズ社）
- DVDit! PE（ソニック・ソルーションズ社）
- MyDVD バージョン4（ソニック・ソルーションズ社）
- DigiOnAuthor2 forDVD（株式会社デジオン）
- DigiOn Video2（株式会社デジオン）
- DigiOnAudio（株式会社デジオン）
- neoDVDstandard 4.0（MedioStream社）
- neoDVDplus（MedioStream社）
- Ulead DVD MovieWriter 2.0（ユーリードシステムズ社）
- Ulead VideoStudio 7（ユーリードシステムズ社）
- Ulead DVD Workshop（ユーリードシステムズ社）

（2003年　４月現在）

※各ソフトウェアは、最新バージョンである必要があります。弊社製品を認識しない場合には、各社ホームページにて対応バージョンの確認願います。

■「WinCDR Lite」「PacketMan」のインストール

機能について

「WinCDR Lite」

DVD-R，DVD-RWメディアへのDVD-ROM互換でのデータ書き込みができます。その他にも、CD-R，CD-RW メディアへの書き込み機能も搭載しています。

「PacketMan」（DVD/CD パケットライトソフトウェア）

ファイルやフォルダ単位でのアクセスが可能ですので簡単な操作でデータの書き込みが可能です。また、DVD-RWメディアのクイックフォーマットに対応していますので、メディアのフォーマットが短時間で終了します。

使用方法について

「WinCDR Lite」「PacketMan のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されている PDF 形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」→「プログラム」→「WinCDR」→「WinCDR ユーザーガイド」
「スタート」→「プログラム」→「PacketMan」→「ユーザーガイド」

インストール方法

「WinCDR Lite」の CD-ROM を CD-ROM トレイにセットしてください。
自動的に下の画面が表示されまますので「WinCDR 」と「PacketMan」をそれぞれインストールします。



インストールするソフトウェアのボタンをクリック

各ボタンをクリックすると自動的にセットアップウィザードが起動しますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

○ Windows XP をご使用の方で、「エクスプローラ上での書込み」または「Windows Media Player 上からの書込み」機能を使用する場合は、「PacketMan」をインストールしないでください。これらの機能と「PackeMan」は混在して使用することができません。

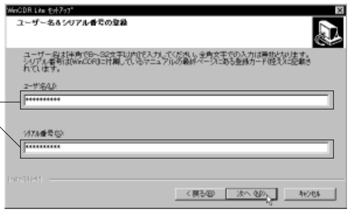
2

インストール方法（続き）

○ CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていない場合は、前ページの起動の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥SetupCD.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「WinCDR Lite」の CD-ROM がセットされた CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

○「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名＆シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザ名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザ名とシリアル番号をそれぞれ入力します。



- ユーザー名は半角で８文字から 32 文字までの英数字で入力してください。
- ここで入力するシリアル番号は「WinCDR」のシリアル番号（株式会社アプリックスのライセンスカードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

※ WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDRLite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

2

■ Macintosh 対応のソフトウェア

本製品には、Macintosh に対応したライティングソフトウェア、DVD ビデオ・オーサリング / ライティングソフトウェアを添付しておりません。ライティングソフトウェアとして、下記ソフトウェアの対応が確認されておりますので、別途ご購入ください。

- DISCRIBE Ver. 5.0　（株式会社 イーフロンティア）
- B's Recorder GOLD X　（株式会社 ビ・エイチ・エー）
- Toast 5 TITANIUM　（ロキシオ・ジャパン株式会社）

（2003 年 4 月現在）

Mac OS X 10.2.2 以降で、OS がドライブを認識することを確認しております。Mac OS X 10.2.2以降では、下記アップルコンピュータ社製ソフトウェアで動作することを確認しておりますので、別途ご用意ください。

- DVD プレーヤ　：DVD ビデオ再生ソフトウェア
- iDVD2/iDVD3　：DVD ビデオ作成ソフトウェア
- iTunes3　：音楽 CD 再生／作成ソフトウェア
- Finder　：HFS での PC データ書き込み
- DVD Studio Pro 1.5　：DVD ビデオ作成ソフトウェア

※各ソフトウェアは、最新バージョンである必要があります。弊社製品を認識しない場合には、各社ホームページにて対応バージョンの確認願います。

ご注意

Mac OS X 10.2 以降の環境では、「DVD プレーヤ」は、内蔵されているドライブの確認を行い、DVD の再生が可能な場合にのみインストールされます。この場合「DVD プレーヤ」を追加インストールすることはできません。内蔵ドライブに DVD-ROM 機能が搭載されていない下記の機種では、本製品を内蔵した状態で Mac OS X 10.2 以降の再インストールを行わないと、DVD ビデオの再生を行うことができません。

●対象機種：

Power Mac G4

- M8705J/A（QuickSilver 2002：800MHz）
- M8451J/A（Digital Audio：733MHz）
- M7688J/A（Digital audio：533MHz）
- M8359J/A（QuickSilver：733MHz）
- M7945J/A（Digital audio：667MHz）
- M7627J/A（Digital audio：466MHz）

※参考

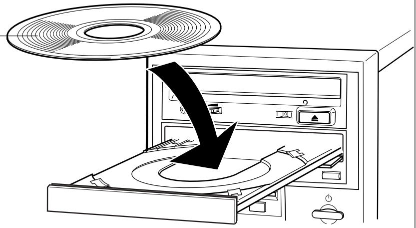
アップルコンピュータ社のホームページより「サポート」-「ダウンロード」で「Apple DVD Player 3.1.1 for Mac OS X」がダウンロードできますが(2003年3月現在)、「DVD プレーヤ 3.1.1」は Mac OS X 10.2 には対応しておりません。

第3章　補足事項

３．１　メディアのセット／取り出しについて

■メディアのセット方法

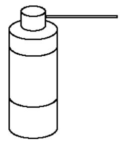
○本製品にメディアをセットするときは、パソコン本体の電源が入った状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。
イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出してください。



※ Machintosh シリーズに内蔵した場合、搭載した本体により、トレイの排出方法が異なります。詳しくは Macintosh に付属のマニュアルをご参照ください。

ご注意

- **メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。**
- **DVD-R，DVD-RW メディアにはラベルを貼付しないでください。**
- **メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。**



- **トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。**
- **トレイの挿入、排出動作中は、絶対パソコン本体の電源を切らないでください。**

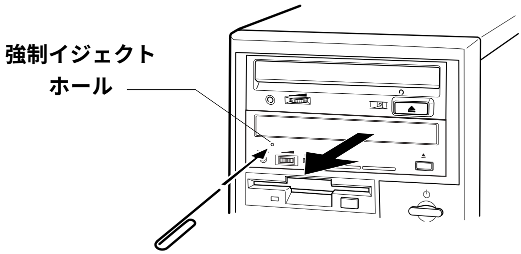
■メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まず本製品のアクセス表示ランプが点灯していないかをチェックしてください。点灯していない場合には、一度システムを終了して、パソコン本体の電源を入れ直してみてください。

これでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、**必ずパソコン本体の電源を OFF にしてください。**

①大き目のクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押してください。

②トレイが２～３ cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

パソコン本体の電源がONの状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

3

３．２　トラブルシューティング

●本製品を接続するとシステムが起動しない。

・本製品背面のジャンパースイッチで動作モード（マスタ／スレーブ／ケーブルセレクト）が正しく設定されているかどうかを確認してください。

●本製品が DVD-ROM ドライブとして認識されない。

・フラットケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

・内部電源ケーブルの接続に問題がないかどうか確認してください。

・「デバイスマネージャ」を起動して、「ハードディスクコントローラ」に「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。「デバイスマネージャ」を起動するには、Windows Me，98/95 の場合、「コントロールパネル」→「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。Windows 2000 の場合は、「コントロールパネル」→「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

・本製品または同時に使用している機器がケーブルセレクト設定の場合は、マスター / スレーブの設定にして試してみてください。

●本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

・本製品背面のジャンパースイッチで動作モード（マスタ／スレーブ／ケーブルセレクト）が正しく設定されているかどうかを確認してください。

・ライティング･ソフトウェアは最新版ものを使用していますか？　同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

●イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

・「３．１　メディアのセット／取り出しについて」をご参照ください。

●特定の DVD-ROM ／ CD-ROM にアクセスできない

・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？Windows環境の場合、Macintosh 用の CD-ROM はアクセスできません。

・そのメディアは「２」または「ALL」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

●メディアの書き込み時にエラーが多発する。

・適切な使用環境で使用していますか？　本製品の使用環境については、「３．３　使用環境について」をご参照ください。

● BUSY 表示ランプがオレンジ色に点滅し、読み込みも書き込みもできない。

・内部温度が異常に高くなるとこのような症状が発生します。通風孔や背面の冷却ファンをふさいだり、熱源となるものに直接触れるような形で使用していませんか？

・メディアが汚れているときにもこのような症状が発生します。メディアとトレイの清掃を行ってみてください。

・上記２項目に該当しない場合は、一度システムを終了して、パソコン本体の電源を入れなおしてみてください。これでも症状が改善されない場合は、修理をご依頼ください。

●サスペンドモードから復帰できない。

・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能は OFF にしてご使用ください。

●パソコン上で DVD ビデオが再生できない。

・DVD ビデオ再生用のソフトウェアは正しくインストールされていますか？ DVD ビデオは別途ソフトウェアをインストールしなければ再生できません。

・リージョンコード「２」または「ALL」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。

・リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

●ブランクの DVD-R，DVD-RW メディアをセットすると、マイコンピュータやエクスプローラ上で Audio CD として認識される。（Windows の場合）

・PacketMan がインストールされていない場合、OS がブランクの DVD メディアを正常に認識できず、「Audio CD」として認識してしまいます。
本製品付属の「WinCDR Lite」CD-ROM から PacketMan をインストールすることによって、「Audio CD」としてご認識されることはなくなります。

●本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。

・市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-R，DVD-RW メディアに対応していないものもあります。本製品で作成した DVD ビデオを再生可能な DVD プレーヤーの情報については、弊社ホームページ（下記）をご参照ください。

●その他：ホームページについて

・弊社および株式会社アプリックスではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：http://www.logitec.co.jp/

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：http://www.aplix.co.jp/cdr/

３．３　使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境（パソコン本体、メディアなど）の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

3

■パソコン本体

○Windows 系パソコンの場合

本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

○５インチベイと ATAPI（E-IDE）インターフェースを持っていること。
○ Pentium Ⅲ 450MHz 以上の CPU を搭載していること。
（CD-R，CD-RW メディア書き込み時は Celeron 300MHz 以上）
○ 128MB 以上のメモリを搭載していること。
○ハードディスクに5GB以上の空き容量があること（20GB以上を推奨）。（CD-R，CD-RW の場合は 800MB 以上）

※できるだけ高速な CPU ／大容量メモリ／大容量 HD を搭載した環境での使用を推奨します。

○Macintosh の場合

PowerMac G4 **シリーズ**
※ PowerMac G4 Mirrored Drive Door 以外は、既存の内蔵ドライブからの載せ替えとなります。

■対応 OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP HomeEdition/Professional
Windows Me
Windows 98 SecondEdition
Windows 2000 Professional

※ Second Edition **でない** Windows 98 **では使用できません。**

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.2.2 以降

ご注意

○ライティングソフトウェア、DVD ビデオ再生ソフトウェアをご使用の際の環境条件は、ソフトウェアにより異なります。ご購入の前に必ずご確認ください。
○すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。

■推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

＜DVD-R メディア＞
パイオニア㈱　三菱化学㈱　太陽誘電㈱「That's シリーズ」

＜DVD-RW メディア＞
パイオニア㈱

＜CD-R メディア＞
太陽誘電㈱「That's シリーズ」　㈱リコー　TDK ㈱
三井化学㈱　三菱化学㈱　日立マクセル㈱　富士写真フィルム

＜CD-RW メディア＞
㈱リコー　三菱化学㈱　TDK ㈱

※書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。ただし、Ultra Speed の CD-RW メディアへの書き込みには未対応です。

※ DVD-R，DVD-RW メディアにはラベルを貼付しないでください。

３．４　オプション品について

本製品に接続可能な内部フラットケーブルは以下の型番で弊社より発売されています。

型番	形状	長さ
CB- F 40/ 66	ピンヘッダータイプ 40 ピン × 3	0.4 m

※ UltraATA/66 対応 80 芯ケーブル使用

型番	形状	長さ
CB- F 40	ピンヘッダータイプ 40 ピン × 3	0.4 m

※ UltraATA/66 以上の高速転送環境には使用できません。

３．５　Power Mac G4 に接続する場合

■接続の前に

本製品を以下の Power Mac G4 **シリーズに内蔵してご使用になる場合、次の手順でトレイ前部のフタを取り外してください。**

- Power Mac G4 Mirrored Drive Doors
- Power Mac G4 QuickSilver

※ Power Mac G4 **グラファイトカラーでは以下の手順は必要ありません。次の「接続について」をご参照の上、本製品の接続を行ってください。**

■取り外し手順

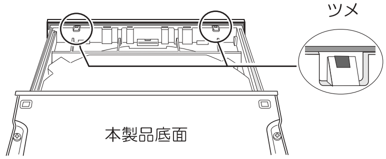
3

①大きめのクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込み、トレイを 3cm **程引き出します。（「**3.1 **メディアのセットと取り出し」参照）**

②本製品を裏返して底面を上にします。

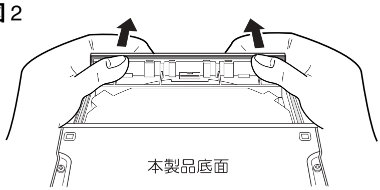
③図 1 を参照してトレイのツメ（２ヶ所）の場所を確認してください。

●}1



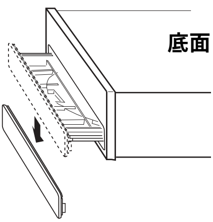
④図 2 のように本製品を両手で抱えるようにしてもち、親指で２ヵ所のツメを前に押し出しながらします。

図 2



⑤図３の方向にフタをスライドさせ取り外します。

図３



■接続について

以下の Power Mac G4 に内蔵する場合は、この後にご説明する接続手順をご参照の上、本製品を取り付けてください。

- Power Mac G4 グラファイトカラー
- Power Mac G4 QuickSilver

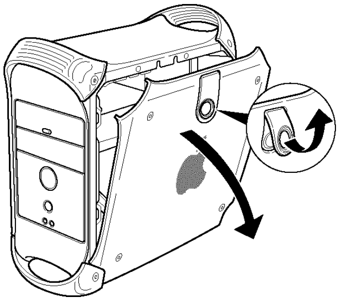
重要なご注意

Power Mac G4 Mirrored Drive Doors につきましては、ご使用の Power Mac G4 に付属の「Power Mac G4 の設置と準備」をご参照の上、本製品を取り付けてください。
取り付けの際は、Mirrored Drive Doorにあらかじめ搭載されているドライブをスレーブに、本製品をマスタにジャンパースイッチを設定してください。ジャンパープラグの設定方法は 8,9 ページをご参照ください。

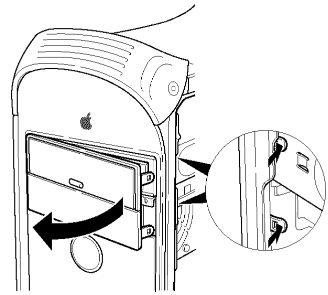
■ Power Mac G4 グラファイトカラーへの接続

①パソコン本体の電源をOFFにして接続された全てのケーブル（電源コード含む）を外してください。

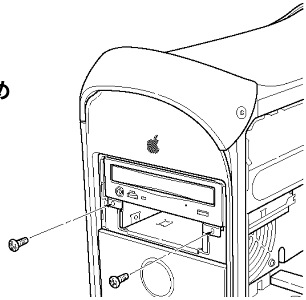
②サイドパネルを開きます。



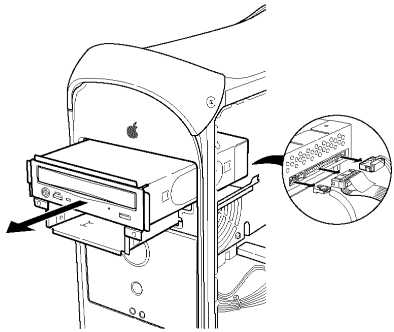
③ドライブベゼルを取り外します。側面のタブを押しながら、右側より前面へ押し出して外してください。



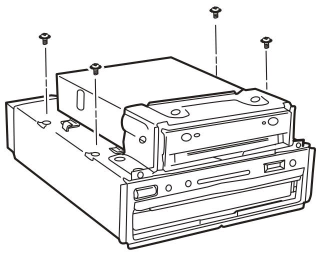
④＋ドライバでドライブキャリアを止めているネジ２本を外します。



⑤内蔵ドライブに接続されているオーディオケーブル、IDE ケーブル、電源ケーブルを外し、ドライブキャリア全体を前面に引き出して取り外してください。



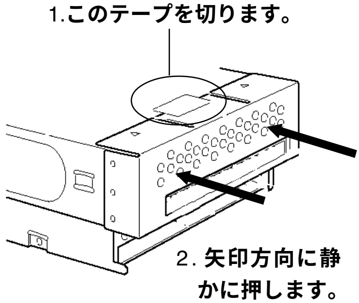
⑥取り外したドライブキャリアを裏返しにして、内蔵されている CD/DVD-ROM ドライブを固定している４ヶ所のネジを外し、ドライブをフロント側から取り出します。



⑦ドライブを取り出した空きスペースに本製品をセットし、手順⑥で取り外したネジで４ヶ所を固定してください。

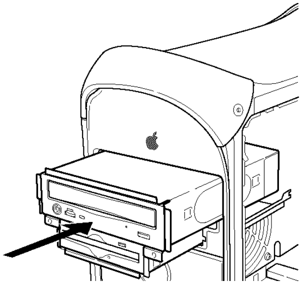
⑧ドライブキャリアの後部を覆っている EMI シールドのテープを破り、EMI シールドを本製品背面部に当たるまで奥に押します。

※強く押すと機器を損傷する可能性がありますので、そっと押し込んでください。

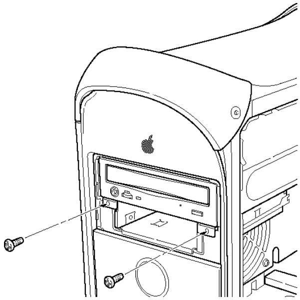


⑨ドライブキャリアをパソコン本体へもどし、ケーブル類を接続します。

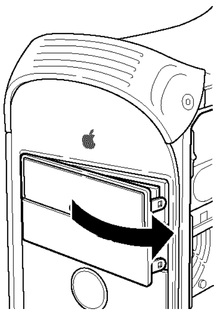
※ 3.5 インチベイに接続していた機器のケーブル類の接続も忘れずに行ってください。



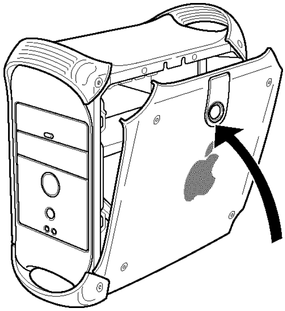
⑩接続ができたらドライブキャリアを完全に挿入して、手順４で取り外したネジを再度取り付けます。



⑪ドライブベゼルを元に戻します。正面に向かって左側を先にセットしてから、右側をセットします。タブがパチンとロックされたことを確認してください、

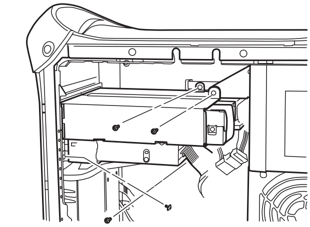


⑫サイドパネルを元に戻します。パチンとロックされたことを確認してください。以上で本製品の接続は終了です。



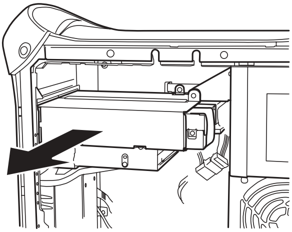
■ Power Mac G4 QuickSilver への接続

①「Power Mac G4 グラファイトカラーへの接続」を参照してサイドパネルを開いてください。



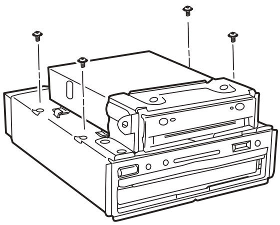
②右図のようにドライブキャリアを固定している 4 箇所のネジを取り外します。

③ドライブキャリアを矢印方向に取り出します。
※ドライブキャリアを少し後ろ側にずらして、ドライブキャリアのフロントパネル側を、矢印方向に少しスライドさせてから、全体を引き出すと取り出せます。



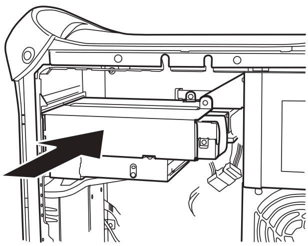
3

④取り外したドライブキャリアのケーブル類を取り外したあと、裏返しにし、内蔵されている CD/DVD-ROM ドライブを固定している４ヶ所のネジを外し、ドライブを取り出します。



⑤ドライブを取り出した空きスペースに本製品をセットし、手順 ④で取り外したネジで４ヶ所を固定してください。

⑥ケーブル類を接続して再度ドライブキャリアをパソコンに収め、手順②で取り外したネジで固定します。



⑦サイドパネルを元に戻します。パチンとロックされたことを確認してください。以上で本製品の接続は終了です。

ハードウェア仕様

<table>
<tr><td colspan="2">機種名</td><td colspan="2">LDR - 42AK</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドライブメーカー</td><td colspan="2">PIONEER</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローディング方式</td><td colspan="2">トレイ方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッファメモリ</td><td colspan="2">2MB</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッファアンダーラン対策</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td colspan="2">ATAPI (Ultra DMA / 33)</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ形状</td><td colspan="2">ピンヘッダータイプ 40 ピン</td></tr>
<tr><td rowspan="9">アクセス
速度 *1</td><td>DVD - Rへの書き込み</td><td colspan="2">4 倍速／ 2 倍速／ 標準速 *2</td></tr>
<tr><td>DVD - RWへの書き込み</td><td colspan="2">2 倍速／ 標準速 *3</td></tr>
<tr><td>CD - R への書き込み</td><td colspan="2">16 倍速／ 12 倍速／ 8 倍速 ／ 4倍速</td></tr>
<tr><td>CD - RW への書き込み</td><td colspan="2">8 倍速／ 4 倍速 *4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVD - ROM
の読み出し</td><td>シングル</td><td>最大 12 倍速</td></tr>
<tr><td>デュアル</td><td>最大 8 倍速</td></tr>
<tr><td>DVD - R，DVD - RW
の読み出し
※高速記録対応メディア</td><td colspan="2">最大 6 倍速</td></tr>
<tr><td>DVD - R，DVD - RW
の読み出し
※従来品</td><td colspan="2">最大 2 倍速</td></tr>
<tr><td>CD-ROM，CD- R
CD- RW の読み出し</td><td colspan="2">最大 32倍速</td></tr>
<tr><td rowspan="2">記憶容量</td><td>DVD - R
DVD - RW</td><td colspan="2">片面ディスクで 4.7 GB 以下</td></tr>
<tr><td>CD- R
CD- RW</td><td colspan="2">80分ディスクで 700 MB 以下
74分ディスクで 650 MB 以下
63分ディスクで 540 MB 以下 *5</td></tr>
</table>

*1　DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。

*2　4倍速での書込みには高速記録対応メディアが必要です。

*3　2倍速での書込みには高速記録対応メディアが必要です。

*4　High Speedタイプ（4～10倍速対応）とMultiSpeedタイプ（1～4倍速対応）のCD-RWメディアに対応しています。Ultra Speedタイプのメディアには未対応です。

*5　63分ディスクはCD-Rのみ

次ページに続きます

ハードウェア仕様

記録方式	DVD - R		Disc at once 方式
			Incremental recording 方式
	DVD - RW		Disc at once 方式
			Incremental recording 方式
			Restricted Overwriting 方式
	CD- R CD- RW		Track at once 方式／ Disc at once 方式
			Session at once 方式 ／ Packet write 方式
平均シークタイム			DVD- ROM : 140 ms 以下
			CD- ROM : 130 ms 以下
最大データ転送速度　（ I/F） *6	Ultra DMA モード2		同期　33.3 MB / s
	PIO モード 4		同期　16 MB / s
メディアとの最大データ転送速度 *6	DVD- ROM		最大 16,200 KB / s
	CD -ROM		最大 4,800KB / s
DVD - ROM 関係	フェーズ		フェーズ　2
	リージョンコード		2　（ 設定済）
環境条件 *7	動作時		パソコン本体に準じる
	保管時	温度	- 10 ℃ ～ 50 ℃
		相対湿度	10 % ～ 90 %
ヘッドフォン出力			0.7 V
入力電圧			DC +5V ± 5 %　　DC +12V ± 5 %
消費電力　（ 定格）			13 W (typ)
外形寸法　幅 × 高さ × 奥行き			148 × 42.3 × 197.7 mm　*8
質量			1.1 kg
設置方向			水平 ／ 垂直

*6　理論値

*7　ただし結露なきこと

*8　横置き時突起部を除く

LDR-42AK V02B

ロジテック株式会社

http://www.logitec.co.jp/